

## アンケート調査の概要について

### (1) 趣 旨

子育て支援者からみる市民の子育てへの不安や困っていること等を把握するとともに、既に実施したアンケート調査では子どもたちの育ちの課題・問題等の把握には限界があると思われる。幼児期における保育・教育の質の向上と支援体制をよりよくしていくために、保育・教育現場で対応しておられる教諭等の意見を伺うことが必要と考え、関係する方々に対し、次の調査項目について調査を実施する。

- ・ 保育園、小学校、学童クラブ、児童館などに通う子どもたちをみて、気になること。
- ・ 幼稚園、保育所での教育・保育と小学校教育が円滑に接続され、子どもが不安なく小学校生活をスタートできるようにするために必要なこと。
- ・ 「家庭の教育力」を高めるために重要なこと。
- ・ 「地域の教育力」を高めるために重要なこと。
- ・ 子育て支援者からみる、市民が子育てをされていて困っていること。
- ・ その他、子育て支援について

※子育て相談を受ける体制、支援の必要性あると思われる家庭へのアプローチ、支援の必要な家庭の対応について行政へ求めること等についても記入をお願いする。

### (2) 調査対象事業所等と対象者

対象事業所：市内の保育園、幼稚園、小学校、学童クラブ、児童館等に依頼する。

対象者：認可保育所（園長、主任保育士、5歳児担任）、認証保育所（園長、主任保育士）

幼稚園（園長、3歳児担任、5歳児担任）、小学校（校長、1年生担任）

学童クラブ（指導員責任者）、児童館（館長）

### (3) 調査の実施方法と実施期間について

アンケート調査票を直接配布して記入していただく。別途面談方式でのヒヤリングを実施する。ヒヤリングに対応していただく方は、各機関・事業所1名程度とする。

調査票配布からヒヤリングの期間は平成26年4月中旬までとする。

### (4) 調査結果の報告

調査結果については、第5回子ども・子育て審議会（4月実施予定）にて報告予定とする。

# ご意見をお聞かせてください

問1 施設種別をお答えください。(〇は1つ)

1. 私立保育園      2. 認定こども園      3. 認証保育園      4. 私立幼稚園  
5. 児童館      6. 学童クラブ      7. 小学校

問2 記入者をお答えください。(〇は1つ)

1. 園長      2. 主任保育士      3. 職員      4. 館長      5. 校長、教諭

問3 園や施設に通う子どもたちをみて、幼児期に身につけておくべき「生きる力」について、気になることはありますか。

① 生活面（身の回りの清潔、衣服の着脱、食事、排泄、睡眠等）について

例) 衣服の着脱や後片付けできる子が少ない、偏食・好き嫌いが多く、アレルギーの子が増えている、離乳の時期、方法が適切でない、おむつがはずれる時期が遅い、決まった時間に起きられない など

② 人とかかわる力について

例) 友達を大切に（仲良く）できる、けんかが多い、思いやりの気持ちを持っている、約束やルールを理解し守っている、あいさつができる、集団の中で楽しみながら一緒に行動する など

③ 学ぶ力をつけるには大事だと思えるのはどのようなことでしょうか。

例) 物事に興味や関心を持つこと など

問4 幼稚園、保育園での教育・保育と小学校教育が円滑に接続され、子どもが不安なく小学校生活をスタートできるようにするためには、どのようなことが必要だと思いますか。また、実際に行っているもの（状況）はありますか。

例) 幼・保・小の子ども同士の交流活動、小学校での一日授業体験の交流活動 など

問5 「家庭の教育力」を高めるために重要なことは何だと思いますか。お考えを自由にご記入ください。

問6 「地域の教育力」を高めるために重要なことはどのようなことだと思いますか。お考えを自由にご記入ください。

問7 市民が子育てをされていて困っていることは何だと思いますか。ご意見を自由にご記入ください。  
(市民が求めているサービスなど)

問8 その他、子育て支援についてのご意見を自由にご記入ください。